

第58回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成28年9月7日（水） 18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 19人

3 会議内容

(1) 宮本輝の青春時代を体験する「青が散るツアー」リハーサル報告

内 容

- ・9月24日（土）開催「青が散るツアー」のリハーサルを8月24日（水）に実施した。
- ・交流フロア運営会議の参加者2名にモニターとなっただき、追手門大のインターンシップ生が小説の舞台である大学構内や宮本輝ミュージアムなどを案内。

今 後

- ・大学の歴史の紹介が多くなってしまったので、小説の世界の紹介をより増やしていきたい。
- ・小説を読んでいない人でも楽しめるよう、ガイドの内容を見直したい。

(2) ウィキペディアタウン（まちづくりプラザ）

内 容

- ・まちづくりプラザとことば蔵のコラボでウィキペディアタウンを開催したい。
 - ・自治会活動の情報発信の方法として活用したい。
 - ・まちづくりプラザの利点はWi-fiがあることと、登録団体を持っていること。
- ことば蔵の利点は、書籍で裏づけをとれることと、その書籍の選定を司書に頼めること。

今 後

- ・ 11 月 27 日（日）ことば蔵、12 月 4 日（日）まちづくりプラザで開催予定。

それぞれの利点も踏まえ、内容を変えて実施したい。

(3) 障がい者週間事業（前回の続き）

内 容

- ・ 12 月 3 日（土）がメイン。4 日（日）は、3 日にイベントがおさまりきらなかった場合の予備と大阪言友会による講座？
- ・ ダーク in ダークで視力障がいを体験するイベントを開催したい。
- ・ 障がい者の方と交流できるイベントの 1 つとして、カエボンをしたい。テーマは「障がい者」。

意 見

- ・ 聴力障がいを体験するイベントとして、耳栓やヘッドフォンを付けた状態でフロアを歩き、後ろから玩具の車を走らせてみるのはいかがでしょうか。
- ・ 車いすバスケやブラインドサッカーなど、スポーツやゲーム性を取り入れてはどうか。
- ・ 事故がないように配慮が必要（特に子ども）。
- ・ 床からの振動で一緒に音楽やダンスを楽しむなど、障がい者が苦勞している面だけを取り上げるのではなく、一緒に楽しめるようなイベントも開催してはどうか。

(4) 2017 年度「コトバーシティ英日翻訳講座」（仮）

内 容

- ・ 主催者が用意した英文を、主催者主導で参加者と意見交換しながら、構造分析したり、翻訳文を練り上げていく。将来はプロレベルの翻訳作品をネットで公開したい。
- ・ 定員 10 名前後。月 1 回平日午前中に実施したい。

今 後

- ・ 来年度の企画なので、これから練り上げていきたい。

(5) 子ども向けプログラミング体験イベント

内 容

- ・2020年の「小学校プログラミング教育必修化」に向けて、子ども達にプログラミングの面白さ、楽しさを伝えるようなイベントをしたい。

- ・(案1)初めてのプログラミング体験 ～「Scratch (スクラッチ)」でゲームを作ろう
→過去に別の場所で開催したことがあるが、学年により難易度が高いことと、PCや無料ソフトのインストールなど準備が必要。

(案2) 世界で話題の本「ルビィのぼうけん」を使ったワークショップ

→PCを使わず、体を動かしながらゲーム感覚で「プログラミングの考え方」を学ぶ。

案1よりは簡単だが、対象年齢(年長～小学4年生)の中でもさらに年齢ごとに分けるなどしないと、進行が難しい。(基本、保護者は参加しない。)

意 見

- ・年長でもOKとするなら、ワークショップで使うカードのひらがなが読めることを条件にするか、カードをイラストにするかしないといけない。
- ・開催するのにより効果的なタイミングを検討したい。ゲームの中にクリスマスの要素を取り入れてクリスマスシーズンに実施する、など。

4 次回の運営会議

平成28年10月5日(水) 18:30～

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア